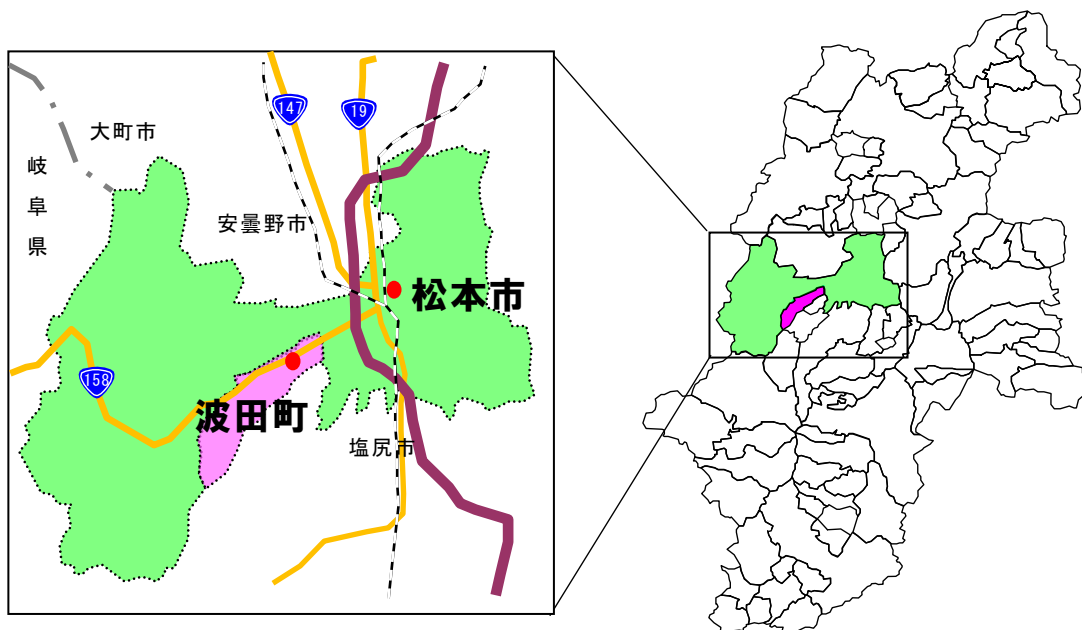


# 松本市・波田町の概況



## 【松本市・波田町の概況】

### (1) 地理的状況

松本市・波田町は、県の中央部から西部に位置し、北は安曇野市等、東は上田市、青木村等、南は塩尻市、山形村等、西は岐阜県と接している。北アルプスなどの日本の屋根と呼ばれる山岳地帯から松本平と呼ばれる肥沃な盆地まで、多彩な地形が形成されている。

両市町は、梓川が境を流れ、国道 158 号を基幹道路として結ばれ、通勤、通学、商圈等、住民の日常生活においても繋がりが深い。

### (2) 人口等

平成 17 年 10 月 1 日現在の人口は、松本市が 227,627 人、波田町が 14,914 人で、産業別就業者人口を見ると、松本市の第 3 次産業が 68.4%、波田町の第 1 次産業が 13.6%と、それぞれ小売・サービス業、農林業の比率が高くなっている。

### (3) 沿革

①松本市：明治 40 年に松本町が松本市となり、昭和 29 年に島内村等、昭和 49 年に本郷村と合併。その後、平成 17 年 4 月 1 日に四賀村、奈川村、安曇村、梓川村と合併し現在に至る。

②波田町：明治 7 年に上波多村、下波多村、三溝村が合併し波多村となり、昭和 8 年に村名を「波田村」に変更、昭和 48 年に町制施行により「波田町」とし現在に至る。

### (4) 財政状況等

予算規模（H21）は、松本市が約 785 億円、波田町が約 47 億円。財政力指数は、松本市が 0.767、波田町が 0.430。実質公債費比率が、松本市が 9.4%、波田町が 17.7%となっている。

### (5) 主な産業等

松本市は、松本藩の城下町として栄え、明治末期からは製糸業を中心に近代産業が勃興し、戦後は電機・機械・食品を中心に発展してきた。また商業は中南信地域の基幹都市として商業集積を形成する一方、明治の開智学校や最近ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本の開催など文化芸術の息づく教育のまちとして発展している。

また波田町は、梓川の清流に恵まれた優良農地を利用して、りんご、梨、桃、稲作等の豊富な農産物を生産しており、とりわけ「スイカ」は全国ブランドとして町を代表する農産物であり、また昭和 50 年以降、松本市のベッドタウンとして人口も増加してきている。

## ◎ 基礎データ

	松本市	波田町
人口	227,627人	14,914人
年少人口(%)	14.6	15.7
生産年齢人口(%)	64.2	63.8
老年人口(%)	21.2	20.5
産業別就業者人口	116,655	8,177
第1次産業(%)	6.9	13.6
第2次産業(%)	24.7	28.3
第3次産業(%)	68.4	58.1
面積	919.35km <sup>2</sup>	59.42km <sup>2</sup>
歳入歳出予算規模(H21当初)	785億29百万円	46億79百万円
財政力指数	0.767	0.430
実質公債費比率(H19)	9.4%	17.7%

注) 人口、産業別就業者人口(分類不能を含む)はH17年国勢調査による。財政力指数は、H18-20の3カ年平均値

## 【松本市・波田町のこれまでの経緯等】

- H16. 6. 27 波田町で住民投票の結果（反対 53.7%、賛成 46.3%）を受け、松本西部任意合併協議会を脱退。
- H17. 7. 10 波田町長選で合併推進派の太田典男氏が初当選。
- H18. 12. 18 波田町で住民意向調査を実施。合併「賛成」48.7%、「どちらかといえば賛成」14.5%、「反対」17.6%、「どちらかといえば反対」8.2%で賛成多数となった。
- H19. 1. 25 波田町が松本市に合併協議を申入れる。市側は「協議の場を設けるには、議会への相談や住民意向の把握が必要であり、市民へ情報提供しながら、慎重に取り組む」とし、平成 19 年度中に合併協議の場を設けることは困難とした。
- H20. 3. 16 松本市長選で現職の菅谷昭氏が再選。合併問題については、市民に波田町の情報を伝え、意向を確認するための方策を早急に検討する方針を示した。
- H20. 5. 20 市は波田町との合併について基本姿勢を示し、7月下旬にも市民への情報提供を始め、年内を目途に住民意向を把握するとした。
- H20. 8. 18 市は、波田町との合併に関する住民説明会を市安曇支所でスタートさせた。（9月1日までに市内 10 箇所で開催。）
- H20. 11. 1 松本市との合併を望む波田町民の有志グループが「合併成就を願う町民大会」を同町情報文化センターで開催した。（約 500 人が参加）
- H21. 1. 16 市は、波田町との合併に関する市民アンケート結果を公表。（合併賛成 32.4%、反対 28.5%、どちらでもよい 26.5%、分からない 12.1%）市長は今後の取組として、町から申入れのある合併協議の場を設けること、民意に見られる課題を整理し、合併協議に臨む市の基本姿勢を検討する庁内組織の立ち上げを表明。
- H21. 4. 8 市は、合併協議に臨むための基本姿勢についての成案を固める。
- H21. 4. 15 同内容について、波田町長は受け入れる姿勢を示す。
- H21. 6. 1 第 1 回任意合併協議会を開催。市が、波田町を編入する合併方式とすること等について決定。（以降、8月までに 4 回開催）
- H21. 7. 12 波田町長選が行われ、現職の太田町長が再選。「町民の信任を得られた。合併に向けて全力で頑張りたい」と述べた。
- H21. 8. 12 第 4 回任意合併協議会が開催され、議員、農業委員の扱い、波田総合病院の扱い等を決定。これにより合併協定項目のほぼ全ての審議を終了。
- H21. 9. 17 波田町議会で法定合併協議会設置を議決。
- H21. 9. 28 松本市議会で、法定合併協議会設置を議決。
- H21. 10. 1 松本市・波田町合併協議会を設置。
- H21. 10. 7 第 1 回松本市・波田町合併協議会を開催。
- H21. 10. 9 両市町長が知事に対し「構想対象市町村への位置づけに係る申入れ」を行う。

<今後の予定> ※合併に向けての想定スケジュール（詳細は、法定協、両市町で決定）

- H21. 10~ 市町で合併議決 ⇒ 県に合併申請  
⇒ 県議会で合併議決 ⇒ 国へ届出（官報告示）
- H22. 3. 31 合併へ